

ふるさとネットワーク ネット

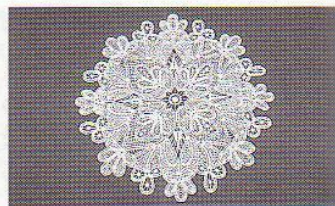
ふるさとと山々は白から緑へ
春の息吹が待ちどおしい今日この頃です。
みなさんいかがお過ごしですか？
今年の冬は久しぶりにたくさんの雪
小春びよりの日にはまぶしいほどの銀世界
キラリ輝く上越の冬でありました。
そして、春……雪深い冬があればこそ
あちこちに実りが多い季節です。
ウキウキ気分であつたふるさとを訪ねてみませんか？

■特集 1~3

ふるさとを活かす

上越の風土・風習を活かしたものづくりの達人たち

雪深く水清らかな上越の風土。
ここには雪国独特の風習があり、
くらしを支える技が今もなお息
づいています。今回ご紹介する
のは、ふるさとと風土を活かし、
今もなお、その伝統の継承に活
躍する皆さん。どの方々もいづ
れ劣らぬ、郷土が誇る素晴らしい
技の持ち主です。



美しいバテンレース

■お知らせ 4

★じょうえつNOW

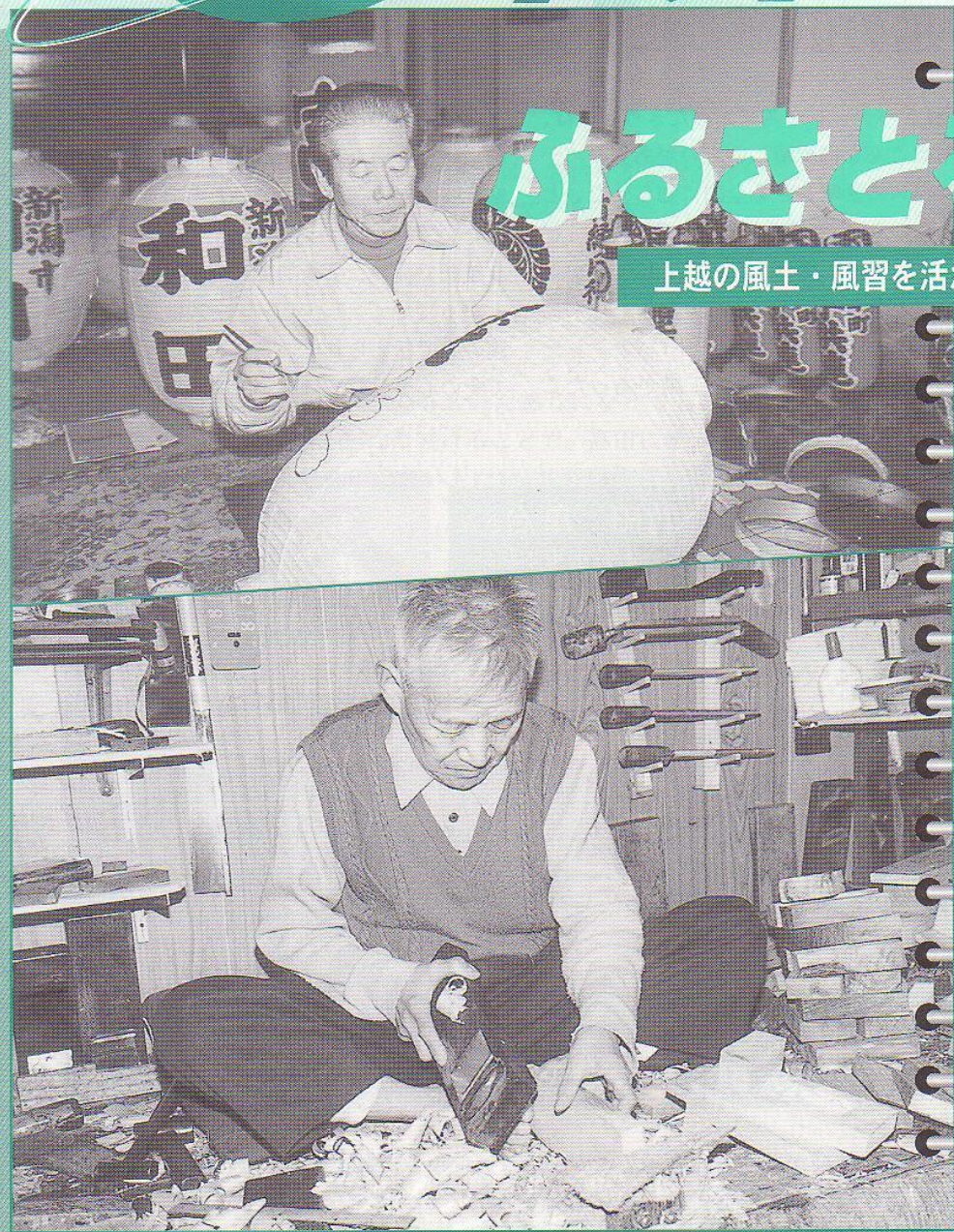


山麓線沿いのレストラン「ヨードル金谷」

★会員募集のお知らせ

★東京事務所のご案内

NO. **4** 1999.3.15



写真上／ちょうちん作りの神村さん

写真下／雪下駄作りの竹田さん

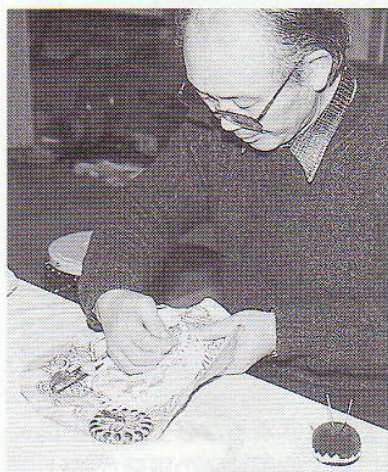
●発行／ふるさと上越ネットワーク

編集：ふるさと上越ネットワーク事務局（上越市東京事務所内）

編集責任者：事務局長 三浦 元二（上越市東京事務所長）

ふるさとを活かす

上越の風土・風習を活かしたもののづくりの達人たちを訪ねて、「ふるさとへの思い」をお聞きました。



バテンレース

上越の伝統工芸を全国に



近藤紀一郎さん
(上越市黒田)

「私がバテンレースを始めたきっかけは、高田はこんなに素晴らしいものがある。バテンレースの素晴らしさを全国に知らせたいと思ったから。」と語る近藤紀一郎さん。「紀一郎クラフト工房パテンの家」にてバテンレースを作っている。「バテンレースが高田で広まったのは、ブレード(バテンレースのもとになるテープ)の工場があったこ

と。冬期間、これといった産業がなく、内職に適していたこと。そして高田の人々の粘り強さが作業に向いていたということではないでしょうか。」ブレードをいろいろな技法で縫い、芸術的で高度なものが上がっていく。「バテンレースは高田の人達の心で伝えられています。ぜひ手にとってその心を感じてほしいですね。」

雪下駄

“雪国高田”の必需品

木の削りくずの中に座り、200年も前から続く雪下駄を今に伝えている竹田亀治さん。上越の湿気の多い雪を考え、一枚歯にし、雪が付かないように、少し前のめりの角度を付けることで滑らないようにする昔の人の知恵が生きている。「今は長ぐつなどが主でほとんど実用化されていないんです。それでもいい材料

を使い、いい仕事にこだわって作ってきたいですね。」国語の教科書に掲載されたのを期に全国の先生からの問い合わせが多くなった。

「どんなに遠くにいても、地元の人々との繋がりを大切にしてほしい。」各地で実演されている竹田さん。上越の風習を伝え続けている。



竹田 亀治さん
(上越市東本町)



ちょうちん

春秋の祭りに大活躍



神村勝太郎さん
(上越市大町)

「上越には祭がたくさんある。ぜひ見に来て頂きたいですね。そのときはちょうちんにも注目してほしいな。」昔は15~16件はあったちょうちん屋も今では神村さん1人に。「上越のちょうちんの特徴は、強く作ること。骨の1本1本に糸を巻いたり、紙をしっかりと骨にかませたりしています。昔からの作り方で手間をか

け、良い素材を使って作れば20~30年はもつ。作ったものが長く使われるというのは本当に嬉しいものですね。」時代と共にちょうちんは使われなくなり、今では祭やお寺などでしかお目にかかれな。そのちょうちんの1つ1つに神村さんのこだわりや人間性があふれている。

高田城下に産毛屋あり



小林七郎右衛門さん
（上越市本町）

高田城下の「うぶげや」さんの毛抜きは、宮内庁や福沢諭吉も愛用したものだ。その技術を今も守り続けている小林さん。

「高田にお城ができたときから店を構えています。昔はクワ^{すき}鋏の部分を使って作っていたそうです。いわゆる廃材利用ですね。ここらは農業が盛んだったので、材料も多かった。」

稲葉型と呼ばれる独特の形の毛抜きは、シンプルだが美しささえ感じ取れる。「今ではどの町も似た感じになってしまい、個性がない。私は毛抜きを作り続けることで、高田に城下町があったんだということを示していきたい。」と14代目小林七郎右衛門さんは語る。

スノーダンプ

上越仕様の除雪の武器



荻原一雄さん
（上越市稲田）

日本で有数の豪雪地帯上越。この雪に立ち向かう人々の心強い味方が荻原さんの作るスノーダンプ。「湿気が多い雪なので雪がくっつかないように、使いやすい形も考えました。」材料も軽いアルミやステンレスなど常に使う人の立場を考え製品を作っている。「生活の苦慮のもとで雪を楽に、費用もかからない方法で取り除くこと。これは雪国ではたいへんな問題。人々が便利に使えるものと考え、それが形になったのです。」

若いころは東京に一輪車などを売りにいった経験がある。「東京という名前にはそれだけでブランドがつく。それに惑わされない目で判断することが大切です。」と語る荻原さんは少しだけ厳しい目をしていた。

会員の声

上金 忠夫さん（82才 杉並区）

私は、有沢制作所に昭和20年代5年ほど勤めていました。当時、会社はパテンレースの生産に力を入れており、たくさんのパテンレースが作られていました。現在、私の手元に明治39年の高田の古地図がありますが、パテンの集荷場が町のあちこちにあるのを見て往時を偲んでいます。もちろん家でも使っているし、贈り物にも最適。特産品として全国へ積極的に紹介していって欲しいものです。

吉田 園さん（77才 練馬区）

昭和のはじめ、私が子供の頃、両親にお正月に雪下駄を買ってもらい、晴れ着に下駄を履き雪の道を歩いた憶えがありますね。普段は私たち子供も靴を履いていましたが、大人たちは着物に下駄が当り前の頃。家の土間に長靴と父親の雪下駄が並ぶと冬が来たんだなと子供心に感じたものです。現在はお土産品として使われているようですが、実用性もあることを知ってもらいたいですね。

市川寿賀子さん（84才 千葉市）

年に何回か高田に帰ると、きまって雁木を散歩します。コースの途中にいまでも桶屋さんがあるのには懐かしさを感じ、下宿しながら通った女学校時代、大工町、鍛冶町などと呼ばれていた頃の街並、桶屋さんが家へタガの出張修理に来たことを思い出しました。雁木に店を構え、土間で仕事をされている職人さんの姿を目にできるなんて、素晴らしいふるさとだなあと感じましたね。

取材を終えて…

今回取材させていただいた皆さんは「上越マイスター」として、その技が高く評価されている方々です。

ものへのこだわりは、ふるさと上越へのこだわりでもありました。お話の中に、たくさんのふるさとの風を感じることができました。Jネットの皆さんはいかがでしたか？皆さんのまわりにもふるさとを活かしたとりくみがありましたらぜひ、事務局までお知らせください。

じょうえつ NOW

◆トピックス

新しい施設が続々オープン!

雁木通りプラザ 4/3(土)オープン



本町3丁目に多機能型拠点施設「雁木通りプラザ」がオープンします。市民サロン、多目的ホール、会議室ほか、上越市南出張所やコミュニティーFMラジオ局(FM-J)も入ります。屋上庭園や公園といった憩いの空間もありますので、ぜひお立ち寄りください。

リフレッシュビレッジ事業

正善寺工房 5(月)オープン

レストランヨーデル金谷 5(月)オープン

くわどり湯ったり村 24(土)オープン

豊かな自然に恵まれた上越市の西部中山間地域(谷浜・桑取・金谷地区)に3つの拠点施設がオープン。のどかな山里の食文化にふれながら心身をリラックスしませんか。ぜひ一度おでかけください。

◆イベント情報

高田城百万人観桜会

4月3日(土)~18日(日) 高田公園

観桜会開幕パレード 3日(土) 11:00 高田駅前出発

わくわくランドin高田 3日(土)・4日(日) 9:00~21:00 (入場は20:00まで)

(高田城本丸跡特設会場)

大人500円、小人200円

10日(土)・11日(日)

17日(土)・18日(日)

●キャラクターショー

救急戦隊ゴーゴーファイブ 燃える! ロボコン ポケットモンスター

●ゲームコーナー

●ミニトレイン・ジャンプツアー他

楽しいイベントがもりだくさん!

桜大使コンテスト 10日(土) 13:00開場 厚生年金会館大ホール

観桜茶会 10日(土)・11日(日) 10:00~16:00 高田城二重櫓管理棟東側

高田城歴代城主「時代行列」 11日(日) 15:00 高田駅前出発

上越市の情報はインターネットで!

ホームページアドレス <http://www.city.joetsu.niigata.jp/>



●平成11年度会費納入手続はお早目に

お手元にすでにお届けしております、平成11年度会費郵便振替票にて必要事項を記入のうえ、納入手続をお早目に願います。

●新規会員募集にご協力を

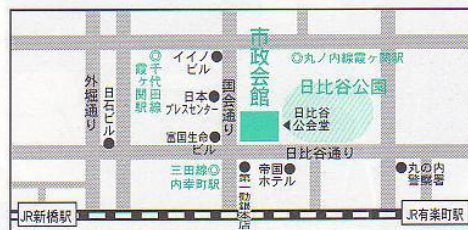
友人、知人、親戚、離れてお住まいのご家族、ご兄弟、または、おつきあいのある、ふるさと会、同窓会、同級会などありましたら、事務局までご連絡先をご紹介ください。入会申込書を郵送いたします。

●住所変更の届け出について

転居のため住所が変更された場合は、新住所を事務局までお知らせください。電話、FAX、Eメールいずれでも結構です。

東京事務所へどうぞ。

ここはJ-net会員のサロンです。ふるさととの情報をたくさん用意して皆さんのお越しをお待ちしています。10名くらいまでの会議もできます。ふるさと会等の打ち合わせにもお気軽にご利用ください。



●あごがき この季節、卒業、入学、進学、就職、転職など何かとあわただしく動きのある時期。新しいスタートにむけ、J-netも頑張っています。今年度は約1,000人に及び会員の皆様のご参加をいただくことができました。4月から迎える平成11年度もより多くの仲間との交流を深め、ふるさとへの提言、ご意見をいただけるネットワークづくりを事務局として進めていきたいと思っています。

ふるさと上越ネットワーク事務局

上越市東京事務所

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3 (市政会館5階)

TEL. 03-3503-1521 FAX. 03-3503-1522

E-mail: j-net@ml.city.joetsu.niigata.jp

上越市企画政策部まちづくり政策課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL. 0255-26-5111 FAX. 0255-26-6111